

厚生労働科学研究費「都市と地方における地域包括ケア提供体制の在り方に関する総合的研究」(代表:西村周三)セミナー

市区町村は少子高齢社会に対応できるか：  
地域と地方の視点から考える社会保障の課題

2016年  
2月26日(金) 13:00-17:30

千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル6階  
国立社会保障・人口問題研究所 第4・第5会議室

時間	プログラム
13:00~13:05	挨拶：西村周三(医療経済研究機構所長・社会保障審議会会長)
13:05~13:50	基調講演1：「社会保障改革と市区町村財政」 小西砂千夫(関西学院大学人間福祉学部教授)
13:50~14:35	基調講演2：「市政運営から見た日本の社会保障の未来」 倉田哲郎(大阪府箕面市市長)
14:35~14:45	休憩
14:45~15:30	講演1：「子どもの福祉と子育てを支える市区町村の役割」 前田正子(甲南大学マネジメント創造学部教授 元横浜市副市長)
15:30~16:15	講演2：「社会保障の地方単独事業の現状と課題」 星野菜穂子(和光大学経済経営学部教授)
16:15~16:30	休憩
16:30~17:30	パネルディスカッション 司会：西村周三(医療経済研究機構所長・社会保障審議会会長) パネラー：倉田哲郎、小西砂千夫、星野菜穂子、前田正子(五十音順)

◆講師プロフィール(五十音順)

倉田哲郎

大阪府箕面市市長

総務省を経て2008年より第15代箕面市長に就任。就任時(34歳2ヶ月)は全国最年少市長。子どもの医療費助成拡大、小中学校の耐震化100%達成など、多彩な政策を展開。現在、箕面市の人口は6年間で6%の伸びを示し、住みよさランキングで4年連続・大阪1位を達成している。

小西砂千夫

関西学院大学人間福祉学部・経済学研究科教授

専門は財政学、地方財政審議会専門委員ほか総務省等の研究会委員等を歴任、主な著書に『社会保障の財政学』(近刊、日本経済評論社)、『日本財政の現代史』(編著、有斐閣)、『統治と自治の政治経済学』(関西学院大学出版会)

西村周三

医療経済研究機構所長  
社会保障審議会会長

専門は医療経済学。京都大学副学長を経て、2010年10月より2014年3月まで国立社会保障・人口問題研究所所長。近著に『社会保障の国際比較研究』(共著)、『地域包括ケアシステムー「住み慣れた地域で老いる」社会をめざして』(共著)など。

星野菜穂子

和光大学経済経営学部教授

専門は地方財政論。主な著書に『地方交付税の財源保障』など。社会保障関係の地方単独事業に係わる研究として『検証 社会保障・税一体改革』(共著)、「社会保障関係の地方単独事業～長野3町村の事例から」など。

前田正子

甲南大学マネジメント創造学部教授  
元横浜市副市長

専門は社会保障論・地方行政論。ライフデザイン研究所を経て、2003年から2007年まで横浜市副市長に就任。2009年から2012年まで、内閣府地域主権戦略会議構成員に就任。近著に『みんなで作る子ども・子育て支援新制度』など。



連絡先(国立社会保障・人口問題研究所)

安藤道人: andou-michihito<at>ipss.go.jp

事前申し込み